

動き



開発建設部

Report

平成19年度防災訓練(6月)について

去る6月7日(木)に行われた平成19年度防災訓練(6月)について、木下次長を始め、佐藤開発建設部長以下、災害対策本部開建部各班・支部及び参加機関として国土交通省、沖縄県、国土地理院、第十一管区海上保安本部、自衛隊、NHK、沖縄建設弘済会、沖縄県建設業協会の協力を受け訓練を行いました。今回の訓練では梅雨前線の影響による大雨からなる土砂災害等を想定し、道路、ダム、公園、港湾、官庁施設等が被災したとの想定の下に行い、現場では実際に衛

星通信車を出動し、現地被災状況の映像配信を行うなど本番ながらの緊迫した状況の中で応急復旧作業(想定)を行いました。今回の訓練を終えて、参加者の防災に対する意識高揚が図れ、国民の財産を守るという使命を再確認しました。



現地の被災(訓練)状況報告を受ける
災害対策本部



開発建設部

Report

沖縄不発弾等対策協議会を開催

沖縄においては、戦後62年を経た現在でもなお、全国の4割以上のシェアで不発弾が発見されています。

沖縄不発弾等対策協議会は、沖縄における不発弾等の調査、発掘、除去及び処分等に関する情報の交換並びに対策を協議検討し、地域住民の生活の安全に資することを目的に設置されています。

今年も6月22日(金)に当協議会が開催され、平成18年度の不

発弾等の処理実績報告、平成19年度の調査実施個所、関係機関における役割、連携の確認など活発な議論が交わされました。



協議会開催状況



開発建設部

Report

那覇港沈埋トンネル工事

~沈埋函(6号函)の曳航及び沈設・接合完了~

平成19年5月21日(月)に、沈埋トンネル6号函の沈設・接合作業が行われました。

沈埋トンネルは、那覇ふ頭三重城側と空港側を8函の沈埋函で結ぶ延長約724mの自動車専用道路です。同トンネルは、那覇港と背後地域との円滑な輸送体系を構築するために計画され、那覇ふ頭地区の港口部を横断することで、本島南部との連絡を強化し、慢性的な

渋滞が続く幹線道路の緩和対策としての役割を果たすものであり、県内初の海底トンネルとなります。これまで、5つの沈埋函の接合が完了しており、6号函の接合により、約544m接合されたことになります。なお、今年の9月頃には空港側の8号函沈設・接合作業も予定されており、工事完成に向け着実に作業が進行しています。



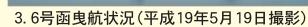
1. 位置図



2. 縦断図



4. 沈埋函の沈設イメージ



3. 6号函曳航状況(平成19年5月19日撮影)



開発建設部

Report

第3回沖縄ブロック港湾保安対策推進会議開催

5月22日(火)沖縄県水産会館において国土交通省港湾局危機管理室長をはじめ、当局開発建設部長他港湾保安担当者、管内港湾管理者、民間埠頭施設管理者及び第11管区海上保安本部警備担当者等(38名)が一堂に会し、第3回沖縄ブロック港湾保安対策推進会議が開催されました。

今回の会議は、平成16年7月に発効した改正SOLAS条約(海上人命安全条約)並びに同時施行された国際船舶・港湾保安法に基づき義務付けられた国際埠頭施設及び国際水域施設における保安措置(自己警備の範囲内で危害行為の発生抑止、対処時間の確保、情報疎通の確保)をより効率的・効果的ならしめるため、保安対策

における最近の情勢及び今後の取組み等、国際埠頭における不法侵入事例や立入り検査での指導事例等、那覇国際コンテナターミナルにおける日頃の保安対策実施状況等について説明するとともに、これら説明に対する質疑応答や意見交換が行われたものです。

当局管内では、那覇港をはじめとする5港で12埠頭施設、5水域施設に係る保安規程が定められるとともにフェンス、照明、監視カメラ等の保安設備を設置し、みなとの安全確保に努めているところです。

本会議を機に各機関の更なる連携強化を図り、今後沖縄の港湾の保安を確保することとしています。



推進会議開催状況



運輸部

Report

不正改造車を排除する運動の強化月間について

交通事故の発生状況が依然として厳しく、また、自動車の排出ガス、騒音等による環境の悪化が深刻な社会問題となっている中で、安全を脅かし、他人に迷惑をかける不正改造車の排除が求められています。

沖縄総合事務局運輸部では、このような状況を改善するため、今年度も車両の安全確保・環境保全を図ることにより、県民の安全、安心の確保を確実に実現していくため、関係機関と協力して不正改造車の排除のための諸活動に取り組むこととし、6ヶ月を強化月間として本運動を積

極的に推進しました。今回新たな取り組みとして、乗用自動車を貨物自動車へ構造変更し、街頭検査時には元に戻して運行しているユーザーに対し、これまで構造変更検査を受検するように口頭指導を行うだけでしたが、警告書を交付する等より積極的な指導を行いました。「不正改造車を排除する運動」は継続していますので、皆様もぜひ、この機会に理解を深めて頂き、その排除にご協力下さい。不正改造車に関する情報・相談・お問い合わせは、次までお願いします。

「迷惑改造車相談窓口(不正改造車110番)」

沖縄総合事務局 運輸部 車両安全課 TEL 098-862-1453
沖縄総合事務局 陸運事務所 整備部門 TEL 098-875-0300



街頭検査中の風景



開発建設部

Report

「まるごと沖縄クリーンビーチ2007」キャンペーンを開催

沖縄クリーンコーストネットワーク(事務局:第十一管区海上保安本部環境防災課、沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課、環境省那覇自然環境事務所、沖縄県文化環境部環境整備課)では、6月17日(日)から7月16日(海の日・月)までの1ヶ月間、「まるごと沖縄クリーンビーチ2007」キャンペーンを開催し、県内全域で海岸等の清掃活動を行いました。

行いました。6月17日(日)の宜野湾トロピカルビーチでのオープニングセレモニーを皮切りに県内のビーチ等で清掃活動が行われました。清掃活動以外にも、沖縄美ら海水族館や本島内の大型量販店にて海洋環境パネル展も開催いたしました。

たくさんの方の参加・ご協力ありがとうございました。



清掃の様子(宜野湾トロピカルビーチ)



環境パネル展(美ら海水族館)



運輸部

Report

平成19年度陸運関係功労者陸運事務所長表彰

6月15日(金)、沖縄総合事務局陸運事務所において「平成19年度陸運関係功労者の陸運事務所長表彰」の表彰式を開催しました。

本表彰は、県内において自動車運送事業、自動車整備事業等の陸運関係事業に従事する役員、従業員等で当該事業に対する功績が顕著であった者及び永年にわたり業務に精励し、勤務成績が優秀な者に対し毎年行われており、今回の受賞者は、役員13名、一般従業員9名、運転者18名、整備士等8名の計48名と自動車関係事業のうち使用済み自動車を適正に処理する等、環境対策に積極的に取り組んだ2社に対して、長田所長から表彰状の授与が行われました。

長田所長は受賞者の方々に対し

て、「多年に亘り陸運関係事業に精励されるとともに、それぞれの分野で長年培ってこられた豊富な知識と技能を発揮され、質の高いサービスの提供と安全性の確保というユーザーのニーズに適確に対応し、業界全体のレベルアップを図って頂くことを期待しております。」と式辞を述べました。



表彰状の授与